

伊勢広域環境組合ごみ処理施設整備・運営事業

落札者決定基準書

令和4年 11 月 14 日

伊勢広域環境組合

< 目 次 >

1	落札者決定基準書の位置付け.....	1
2	落札者決定の手順.....	1
(1)	入札参加資格審査	1
(2)	事業提案審査	1
(3)	落札者の決定	2
3	事業提案審査の方法.....	3
(1)	基礎審査	3
(2)	非価格要素審査	3
(3)	価格要素審査	7
(4)	総合評価	8

1 落札者決定基準書の位置付け

伊勢広域環境組合（以下「組合」という。）が進める「伊勢広域環境組合ごみ処理施設整備・運営事業」（以下「本事業」という。）において、事業実施者は、施設の整備及び運営・維持管理に関する専門的な知識、ノウハウ等が求められる。このため、組合では、価格以外の施設性能・機能等及び価格によって落札者を決定する総合評価落札方式による指名競争入札を採用する。

落札者決定基準書は、総合評価方式による最優秀提案者の選定に際し、要求水準書等の内容について、応募者から提出された事業提案書を評価する基準として示すものである。

2 落札者決定の手順

(1) 入札参加資格審査

組合及び伊勢広域環境組合総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という）では、応募者から提出された入札参加資格審査に関する提出書類を基に、入札説明書の「入札参加資格要件」に示した事項を満たしているかどうか確認する。

入札参加資格審査の結果、入札参加資格要件を満たしていることが確認された応募者のみ、次段階の対面的対話に進むことができるものとし、入札参加資格要件を満たしていない応募者は失格とする。なお、入札参加資格審査の結果については、全応募者に通知する。

(2) 事業提案審査

ア 基礎審査

組合及び審査委員会では、事業提案書に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を全て満たしていることを確認する。

基礎審査の結果、当該要件を全て満たしていることを確認した応募者のみ、次段階の非価格要素審査及び価格要素審査に進むことができるものとする。

イ 非価格要素審査

審査委員会では、応募者から提出された事業提案書を評価して得点化する。なお、非価格要素審査に当たっては、応募者へのヒアリングを実施する。

ウ 価格要素審査

審査委員会では、入札価格を得点化する。

エ 総合評価

審査委員会では、非価格要素審査及び価格要素審査の得点を合計して総合評価点を算出し、総合評価点の最も高い応募者を最優秀提案者に選定する。

(3) 落札者の決定

組合では、審査委員会における総合評価の結果に基づき、落札者を決定する。

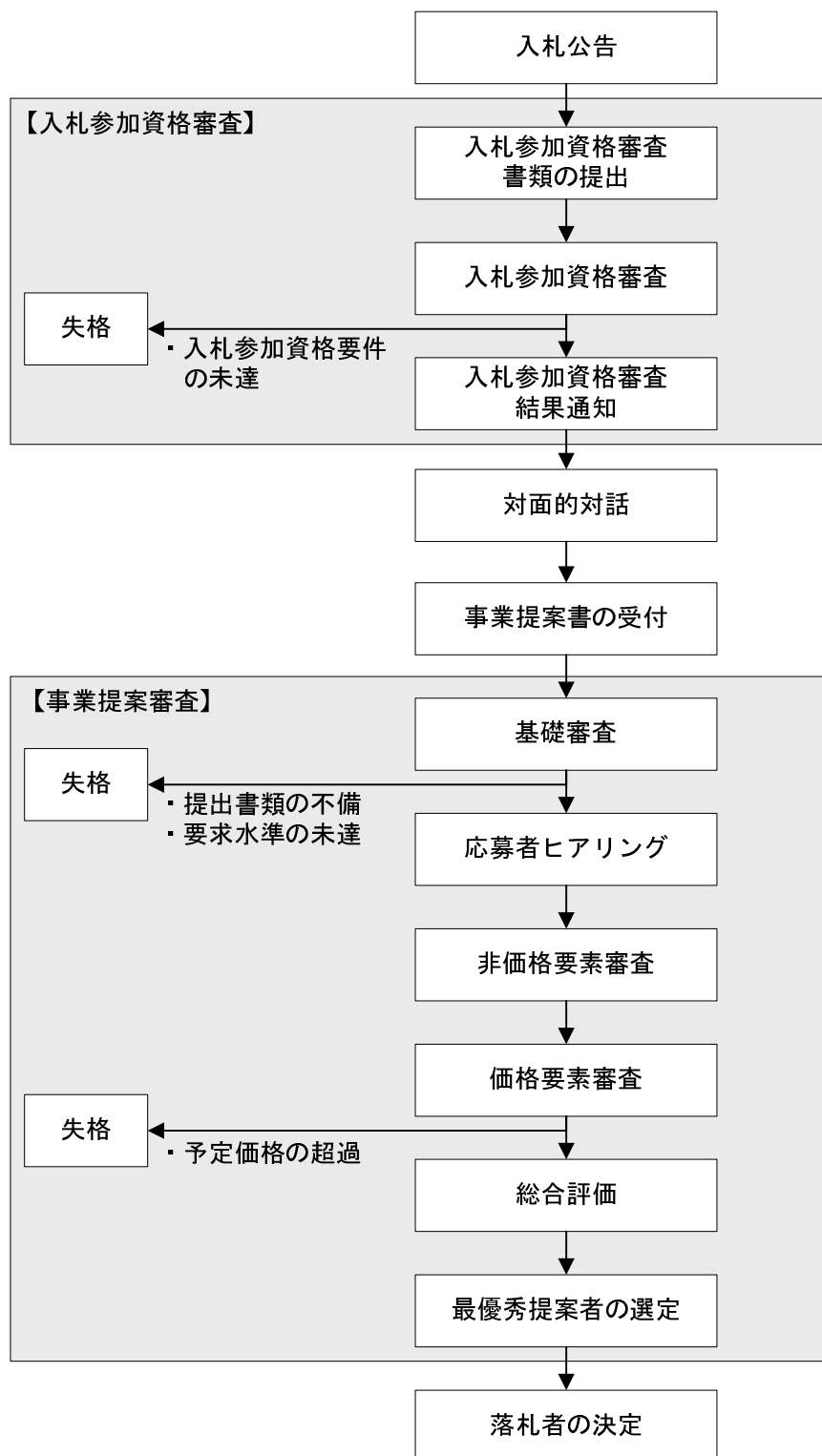


図1 落札者決定までの流れ

3 事業提案審査の方法

(1) 基礎審査

組合及び審査委員会では、応募者から提出を受けた事業提案書について、次に示す項目を審査する。なお、要求水準書に規定する性能要件を満足していない場合は、その応募者は失格とする。

ア 提出書類の整合確認

- 1) 必要な書類がそろっているか。
- 2) 書類間の整合が図られているか。

イ 事業提案書と要求水準との整合確認

- 1) 提案内容が要求水準を満たしているか。ただし、入札説明書等や質問回答書の内容も考慮したうえで判断する。

(2) 非価格要素審査

ア 評価項目及び配点

非価格要素審査の合計点は、60 点とする。

審査委員会では、事業提案書における提案内容を表 1 に示す評価基準で評価し、点数化する。なお、審査に当たり、提案内容について応募者にプレゼンテーションを求めるとともに、ヒアリングを実施する。

表 1 評価項目・基準及び配点 (1/3)

評価項目		評価の視点	配点
1. 安全・安心に配慮した施設			15
(1) 全体配置計画		a) 全体配置計画に対してコンセプトをもって具体的に提案しているか。 b) 平時の車両動線（収集車両、一般持込車両、見学者車両、残さ等搬出車両等）の考え方のほか、安全対策や車両の渋滞緩和策等を具体的に提案しているか。また、訪問する見学者の駐車場から玄関までの見学者歩行動線への安全策を具体的に提案しているか。 c) 災害時における動線計画を具体的に提案しているか。	2
(2) 公害防止対策	① 設計での対策	a) 排ガス処理への設計での考え方及び排ガス自主基準値遵守への対策を具体的に提案しているか。 b) 排ガス以外の騒音・振動・悪臭等の公害防止基準値の遵守への対策を具体的に提案しているか。	2
	② 環境管理方法	a) 工事中における公害防止対策、情報発信等を具体的に提案しているか。 b) 運営時における公害防止基準の環境管理方法を具体的に提案しているか。 c) 基準超過時（特に排ガス）における具体的な対応方法を提案しているか。	3
(3) 運転管理	① 事故防止機能	a) エネルギー回収施設及びマテリアルリサイクル推進施設それぞれの設計において、爆発や火災等の事故防止機能を具体的に提案しているか。 b) 運営・維持管理業務における労働災害の防止策を具体的に提案しているか。	4
	② 事故発生時対応	a) 爆発や火災等の事故発生時の対応方法を具体的に提案しているか。 b) リチウムイオン電池からの発火による火災事故等発生時の対応方法を具体的に提案しているか。	2
(4) 施工計画		a) エネルギー回収施設、マテリアルリサイクル推進施設、調整池など、多様な施設の建設に対し、適切な施工計画を具体的に立案しているか。 b) 工期内に確実に竣工するための工程管理や余裕を持った工事計画を具体的に立案しているか。 c) 設計・建設業務における労働災害の防止策を具体的に提案しているか。	2

表 1 評価項目・基準及び配点 (2/3)

評価項目		評価の視点	配点
2. 構成市町で発生する一般廃棄物を安定的に処理できる施設			9
(1) 安定稼働	①ごみ量・ごみ質変動対策	a) 今後想定されるごみ量の減少やごみ質の低下に対する設計や設備等への対策を具体的に提案しているか。 b) 年末などの大量にごみが搬入される場合のごみ量ごみ質の変動に対する設計や設備等への対策を具体的に提案しているか。	3
	②処理システム	a) ヒューマンエラー等を防止するための自動化機能などの安全対策を具体的に提案しているか。 b) 想定される機械トラブルに対し、信頼性及び耐久性があり、安定して稼働できる処理システムを具体的に提案しているか。 (AI, IoT, ICT 等の高度自動化機能を導入する場合は、特にその信頼性について提案しているか。)	3
	(2) 運転体制	a) 施設ごとに、各担当における役割分担や班体制等を明確化した適切な運転管理体制について具体的に提案しているか。 b) 専門資格を有した専門技術者を継続的に配置するとともに、20 年間にわたる人材育成方法を具体的に提案しているか。	2
(3) 経営計画		a) 20 年間の経営計画・事業収支計画を踏まえ、運営事業者が長期的に安定した経営が可能な方策や運営事業者への出資率・額のバランスなどについて、具体的に提案しているか。 b) 不測の事態が生じた際に対応する準備体制として、セルフモニタリングなどによるチェック体制や資金調達方法、業務停止を防止するバックアップ体制、保険等について、具体的に提案しているか。 c) 運営事業者からの適切な情報発信方法を具体的に提案しているか。	1
3. 経済性・効率性に優れた施設			4
(1) 施設長寿命化		a) 施設に長寿命化対策を施し、安定稼働を 30 年以上使用することができる対策を具体的に提案しているか。 b) ライフサイクルコストを削減するための設計上の工夫を具体的に提案しているか。 c) 組合の資源化委託費低減につながる処理システムを具体的に提案しているか。	4
4. 資源とエネルギーを高効率に回収し有効利用を図ることが可能な施設			4
(1) 資源有効活用		a) 適切に資源化が継続できる品質を確保するための方策を具体的に提案しているか。 b) 不燃/粗大系から積極的に金属類の回収を行えるシステムについて具体的に提案しているか。 c) 資源物の品質向上（不適物除去等）の方策について具体的に提案しているか。	4
5. 処理に伴う二酸化炭素等の排出量の低減が図られた環境に優しい施設			7
(1) 地球温暖化対策		a) 施設の運転によるエネルギー使用に伴い発生する二酸化炭素の排出量を評価する。 b) 運営開始後の温室効果ガス排出量のモニタリング方法を具体的に提案しているか。	3
(2) エネルギーの有効利用		a) 余剰電力の年間売電量を評価する。 配点×提案年間売電量／最も多い応募者の年間売電量	4

表1 評価項目・基準及び配点 (3/3)

評価項目		評価の視点	配点
6. 地域に開かれ親しまれる施設			6
(1) 環境学習	①施設見学	a) 環境学習に効果的な見学内容について具体的に提案しているか。(ごみ処理の流れが分かりやすい見学者ルートや内容、年齢層や見学目的に応じた見学内容、体験学習設備等など) b) 継続性や更新性、維持管理費にも優れ、陳腐化防止にも配慮した展示内容を具体的に提案しているか。	2
	②見学以外	a) 管理棟内の研修室や環境啓発エリアの活用、環境学習イベントの開催などによる環境啓発について具体的に提案しているか。 b) 地域コミュニティの機会創出の場としての活用方法を具体的に提案しているか。	1
	(2) 景観	a) 周辺景観と調和を図った圧迫感のない形状や色彩に配慮した外観デザインを具体的に提案しているか。 b) 地域のシンボルとなり親しまれる施設への要素を具体的に提案しているか。	2
	(3) 情報発信	a) 構成市町の住民に対し、運営事業者による情報発信の内容を具体的に提案しているか。	1
7. 地域社会に貢献できる施設			10
(1) 地域貢献	①地元企業の活用	a) 設計・建設業務及び運営・維持管理業務において、地元企業（構成市町内に本店、本社、支店又は営業所を置く企業）への発注計画を評価する。 b) 設計・建設業務及び運営・維持管理業務において、地元企業（構成市町内に本店、本社、支店又は営業所を置く企業）との協力・連携体制について評価する。	4
	②地元雇用、人材の育成	a) 地元雇用（構成市町内在住者）について具体的に提案しているか。 b) 幅広い人材の雇用計画を提案しているか。	2
	(2) 利便性の向上	a) 年末やGW明けなどの混雑する時期への対応のほか、直接搬入車両や収集車両が混雑する時間帯（朝、午後一前）において、受付、荷下ろし、支払い等にかかる時間を低減させるための方策について具体的に提案しているか。 b) 直接搬入の住民に対する料金徴収システムについて利便性が向上するシステムを具体的に提案しているか。	3
	(3) 資源・エネルギーの地産地消	a) エネルギーの地産地消に対する将来の検討について、協力的な体制を提案しているか。 b) 県・構成市町産の資材や再生品の活用を具体的に提案しているか。	1
8. 災害に強く災害時においても地域に貢献できる施設			5
(1) 早期復旧		a) 大規模災害発生によるライフライン遮断時における早期復旧策、サポート体制などを具体的に提案しているか。 b) 災害廃棄物の受入体制や対応方法について具体的に提案しているか。	2
	(2) 避難所機能	a) 一時避難及び一定期間滞在機能として、受入可能人数、必要な機能、活用する諸室、動線などについて、感染症対策やプライバシーに配慮し、具体的に提案しているか。 b) 地震等による施設稼働停止時及び稼働中のエネルギーの使用可能量や使用可能時間を具体的に提案しているか。 c) 避難住民に対するエネルギー供給方法（電源、温水等）を具体的に提案しているか。	3
合計			60

イ 評価基準及び得点化方法

審査項目における評価基準及び得点化方法は、表 2 に示すとおりである。

表 2 評価基準及び得点化方法

評価	評価内容	得点化方法
A	特に優れており、提案内容に非常に大きな期待ができる	配点×1.00
B	AとCの間であり、提案内容に大きな期待ができる	配点×0.75
C	提案内容に期待ができる	配点×0.50
D	CとEの間であり、提案内容にあまり期待ができない	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度であり、提案内容に期待できない	配点×0.00

注) 点数は、配点が示される評価項目ごとに小数点第 3 位を四捨五入し、
小数点 2 位まで算出するものとする。

(3) 価格要素審査

価格点は、40 点満点とし、次の方法で算出する。

また、価格点の算出に当たっては、定量化限度額を設定する。定量化限度額以下の価格で入札しても失格にはならないが、この場合の価格点は 40 点満点とする。なお、定量化限度額については、開札時に公表する。

【最低入札価格＞定量化限度額の場合】

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

【最低入札価格≤定量化限度額の場合】

(a) 入札価格≤定量化限度額の応募者

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点}$$

(b) 入札価格＞定量化限度額の応募者

$$\text{価格点} = 40 \text{ 点} \times (\text{定量化限度額} / \text{入札価格})$$

・ 入札価格：応募者から提出された入札価格における入札書比較価格に相当する価格

・ 最低入札価格：応募者から提出された入札価格のうち最低の入札価格

注 1) 点数は、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点 2 位まで算出するものとする。

注 2) 予定価格を上回った応募者は、失格とする。

(4) 総合評価

総合評価点は、非価格点及び価格点の合計で算出し、総合評価点の最も高い応募者を最優秀提案者に選定する。

総合評価点の最も高い応募者が複数ある場合は、価格点の高い応募者を選定する。それでも複数ある場合は、当該事業者にくじを引かせて最優秀提案者を選定するものとする。

$$\text{総合評価点} = \text{非価格点} + \text{価格点}$$